

ふるさとの鼓動
北に生きる心
むすんで

=ホームページにカラー版を掲載中!=

こぶし

第 145 号

発行責任者：横井 正人

特定非営利活動法人 民族歌舞団 こぶし座

TEL:0138-54-2859 FAX:0138-84-8207

E-mail:kobusiza@wing.ocn.ne.jp

2017年 1月1日発行

編集：機関紙局

北海道函館市陣川町 122-172

年 2 回発行

http://kobusiza.sakura.ne.jp/

主な内容

- (1) 新年のごあいさつ
- (2) 「山根神楽」公演を終えて
- (3) 一般公演の取り組みから
- (4) 公演日程(1～3月)ほか



謹賀新年

本年もどうぞよろしくお願い致します

二〇一七年 元旦

特定非営利活動法人 (NPO 法人)

民族歌舞団こぶし座社員一同

理事長 横井正人 (座員)

理事 中尾雄児 (座員)

理事 計良 徹 (座員)

監事 金城公雄

計良 正子 (座員)

横井ひとみ (座員)

松岡智恵美 (座員)

村田さつき (座員)

板垣 清

岩島 司

岡部 幸人

西東英範

志賀松 晋

志賀松智恵美

橋本 かつお

馬場 雅

古川喜美子

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

昨年賜りましたご支援に心からお礼申し上げます。

お陰様でみんな元気に、年を越すことができました。

昨年は、五月の「ソウルフレンドシップフェア 2016」(国際フェスティバル)への参加に始まり、六月の江差町・札幌市・

帯広市での創立50周年記念公演、八・九月の学校公演、十一月からの全道九地域での一般公演、そして十二月末には復興

祈念「山根神楽」公演の開催と、新しい出会いと感動の一年を送ることができました。

今年度の事業として位置づけた「山根神楽」公演は、後援会のみなさんと共に大成功をおさめ、保存会へ計画を上回る

支援金を送ることができました。

ご協力頂いたみなさんに心より感謝致します。

故郷の誇りに満ちた山根神楽は力強く躍動感に溢れ、しなやかで美しい舞いは観客を魅了し、恵比須舞のしぐさに子ども達の笑顔ははじけて会場がひとつに結ばれていきました。

震災の厳しい現実に向かい五年と九ヶ月を乗り越え、

伝統を守り続けている保存会の舞台から、歴史の重みと故郷の温かさ、日々の暮らしの大切さがじわりじわりと伝わってくるのです。

私たちが目指し、創り出したいと願う感動の舞台でした。

…ふるさとの鼓動・北に生きる心結んで…を合い言葉に、

芸能を通して、一つひとつ丁寧な心と心を繋いで行こうと

勇気が湧いてきました。

最後に、皆さまのご健康を祈念しつつ、一層のお力添えを

お願いして新年のごあいさつと致します。

…新しい年の初めに…座員一同

東日本大震災復興支援・交流の集い 復興祈念「山根神楽」公演を終えて――

――師走の慌ただしい時期にもかかわらず、二百名を超える方々が参加。また、会場のある七飯町の中宮安一町長より、心温まるメッセージが寄せられるなど、楽しく、そして意義深い感動的な催しとなりました。山根神楽保存会の小野寺勝氏(野田村在住)からの寄稿(お手紙)です。

岩手県沿岸北部に位置する久慈市・野田村を出発し、八戸駅から新幹線に乗り新函館北斗駅まで総移動時間3時間弱。あつという間の北海道。駅改札口では、私たち神楽衆を温かく迎えていただきました。

外は、一面の雪でした。銀世界が神聖に見え、神楽を披露するには絶好の日と勝手に思い込み、大中山コモンを指しました。「はあくるばる来たぜ函館♪」と心で口ずさみながら、北斗や七飯の素敵な風景に感動し会場に到着し



震災時の様子などを語る新山氏

たのです。

山根神楽について簡単に紹介しますと、山伏の脈をもつ神楽です。年間の活動の殆どが、地元の神社のお祭りで、神様を宿した権現様で舞う御祈禱(ごきとう)や直会(なおらい)の場で神楽幕を付け、鳥舞や恵比須舞など参拝した方々にお見せしております。様々な大きさの神社にお呼ばれますが、まずもって、参拝者との距離が非常に近いところが特徴です。



御神楽(鳥舞)……この舞が全ての舞の基本となる

さて、会場に着き、出演させて頂く場所に通してもらいました。各セクションで準備を行っている方々に、頭の下がる思いでした。そして、空間の素晴らしさに羨ましさも

憶えたのでした。お客さんの距離は少しあるかなと感じましたが、そこは神楽一同わかまえていきます。こつちから近づいていけばいいのだ。

こぶし座の、江差まつりばやし、傘踊り、ぶちあわせ太鼓で幕が開け、さあ、山根神楽の出番だ。始まりは権現舞。ホラ貝が会場を神聖な場所に

いざなう。ポフツ。アレレドゥしたホラ貝。いざなうどころか、アウエーな雰囲気にしてしまった。一息入れ、やっ



演奏メンバーの皆さん(右端が保存会々長:清水川氏)



鯛つけ役とのやりとりが会場を笑いの渦に！

とこさ音が出て、太鼓が鳴り出す。いつも通りの神楽の幕開けです。

北海道の皆さんはどう見てくれるのか少しの不安はありました。驚きました。皆、舞い手に集中しその雰囲気、それに私どもは感動をした。それに私どもは感動をしたのを思い出します。最後の恵比須舞では、前列の子供たちに少しばかり参加してもらい、会場が笑顔に包まれました。ご観覧いただいた皆様

が山根神楽を受け入れて下さったことに感謝しております。夜は、オールこぶし座の接待を受け、美味しい料理と酒、座員、後援会の人たちのお人柄の良さに、山根神楽一同は酒を呑むとはこんなに気持ちの良いものかと、時を忘れた夜でした。

今回、復興祈念の集いと題しお招きいただき、皆さまに、神楽をお見せすることができ大変光栄でした。

こぶし座社員、後援会の方々からはチケット販売から、受け入れ準備、当日の運営、更には翌日の観光まで行っていたいただきました。言葉では表現しきれない位感謝の気持ちでいっぱいです。大変ありがとうございました。ありがとうございます。

終わりになりますが、こぶし座の今後ますますのご繁栄と関係者各位のご多幸をご祈念し感謝のお手紙といたします。



恵比須様からのプレゼント!!

【後援会ニュースより】

*こぶし座後援会が発行している会員向けのニュース「お元氣ですか」に掲載された記事を紹介(抜粋)します。

この度の催しで、後援会役員の方々と共に先頭に立って奮闘し、更に懇親会では料理の準備も担ってくれた「元輝ふぁーむ」代表・山田圭寿さんの文章です。(下記欄へ)



進之介青年による「三番叟」の見事な舞

こぶし座さんからのお話で、「農業をされている方が、被災地の野田村で山根神楽をやっているんです。」とお聞きして、一番初めに思ったのは、山根神楽って何？山根神楽って、どんな芸能なんだろう。被災地の伝統芸能、ぜひ体感してみたい、そのような思いから、「山根の会」に参加し、この公演に関わることにしました。

当日の公演は本当に素晴らしいものでした。権現舞など、私が今までに見たことのある題目と同じでも、地域によって演舞には大きな違いがあり、どの演目でも、何か強く引き付けられるような魅力を感じ、これこそ伝統芸能なんだと感じました。

……中略……

私自身見て楽しい、参加して楽しい公演となり、今回関わらせていただけたことに大変感謝しております。どうもありがとうございました。

ぜひ今度は現地に行つて、「祭りに参加してみたい。」と思う気持ちが強くなりました。本当に楽しい一日をどうもありがとうございました。

一般公演の取り組みから

今年6月に行った三地域での記念公演後、

演目を再構成して臨んだ全道域での一般公演…

11月12日から12月7日迄、ホール企画を5市町・ふれあい企画を4町で実施。様々な会場条件の中、照明外部スタッフ・奥山氏の協力で、魅力ある舞台づくりに挑戦中です!!

「こぶし座」 紋別公演に大満足

尺八奏者・谷藤紅山

四十五年前、こぶし座が創立して五年位経っていたのだと思いますが、後志管内で開催された組合の教研集会に参加し、休憩時間に上演した「こぶし座」を鑑賞させてもらったのが初めての出会いでした。

それ以来、転勤する先々で「こぶし座が来る」と聞くと、

座員の明るく優しい笑顔を見たくて、歌舞と楽器演奏に惹かれて、それぞれの演目をかぶりつく様に見入ったものでした。あの太鼓のリズムを聞くとき、黙ってられない。会場いっぱい歌い踊る姿に見えながら一緒に身体を動かしてきました。

この度は、遠軽町でも公演をして頂きましたが、ホール企画の「トンコリ演奏」や「ムックリ演奏」そして「ウポポ」

に「ウバシクマ」が見たくて、聞きたくてたまらなく、紋別公演に家内と共に出かけました。

六年間住んでいた町であり、つい最近では創立五十周年を迎えた「市民劇団海鳴り」の上演も見にきたばかりでした。会場には「海鳴り」の団長が受付を手伝い、劇団員も早々と来場して、さらには知人や尺八のお弟子さんも楽しみにしている様子が伺えましました。

今回の公演で益々進化していると感じたのは、照明効果や工夫されており、楽器の種類が増えたこと、そして何よりもマイクの活用に加えて、ミキシングの素晴らしい効果で、ごく自然に表現されており絶妙でした。

また、新しい演目にチャレンジするために現地の方々に教えを乞いに出かけて、真摯に取り組んできた成果が、会場の私達にしっかりと伝わってきました。

帰り道、家内が「来て良か

ったねえ。心が洗われるってこういうことだね。また、元気に過ごす力を戴いたね。」と運転しながら笑顔いっぱい話してくれました。健康が何よりです。また「生きる力」を与えて下さい。

【谷藤紅山氏の略歴】

一九四五年…網走市に生まれる。
〇三年…尺八とフルートの合体楽器をシヤクルト(Shakurto)と命名し作曲演奏活動を続けている。
〇四年…新道山流宗家より尺八最高位「竹琳軒」の称号を賜る。
〇四〜〇五年…ニューヨーク、トルコ、サンディエゴ各地で招待演奏し、好評を博す。
〇六年…以後、テレビやラジオ、新聞、音楽器専門雑誌などでもShakurtoを取り上げられていく。
〇九年…東京都で「第1回シヤクルト愛好者のつどい」を開催後、札幌市・函館市・名古屋・北見市・遠軽町、そして旭川市で開催している。

現在、日本シヤクルトセンター代表
(尺八シヤクルト奏者)

事務局メンバーが最後までお手伝い!



《苫小牧市》
アイヒュープラサ

苫小牧公演を終えて 私とこぶし座 事務局長・古川和義

12月7日、6年ぶりに苫小牧で行われた「こぶし座公演」も無事に終わり、ほっとしています。毎回新しい演目が工夫され、今回も新鮮な公演になっていました。会場から出て来られる皆さんの感動に満ちた表情や、積極的にアンケートやカンパを出してくださいの姿を見ると、毎回やってよかったと思います。

今回は、ほぼ前回同様のメンバーでしたが、退職教職員の方々に奮闘いただきました。特に、実行委員長の濱部敏明さんは、「こぶし座の皆さんにいい正月を迎えさせてやりたい」と、1人で100枚以上販売して下さいました。こうした方々の熱意で今回の公演も大成功に終わることができました。本当に感謝です。

今、学校現場の状況は大きく変わり、「授業時数確保」と「学力向上」が最優先され、昔は毎年実施するのが普通だった観劇などの文化行事の時間を確保するのが難しくなっています。そのような中で、こぶし座公演を実施できたことはとても貴重でした。一般

公演だけでなく、学校での鑑賞教室公演も協力して進めていくことが必要だと思えます。

私が勤務する中学校は、伊藤多喜雄さんの出身校であることから、体育大会では全員で「タキオのソーラン節」を踊ります。またボランティア部が学校内外で太鼓や琴を演奏しています。今年はPTA行事で、高校の演劇部の公演も行いました。

文化に触れる機会を増やし、伝統芸能を継承発展させる取り組みは、子どもたちの成長にとって、重要なことではないでしょうか。

私が事務局となった苫小牧公演は、一九九九年以来今回で5回目です。

こぶし座との最初の出会いには、穂別町(現・むかわ町)でした。学校の体育館を使用し、実行委員による「餅つきばやし」は大好評でした。

当時は、教研集会で青年部が「餅つきばやし」を披露するなど、文化が根付き潤いのある学校現場だったと思います。

穂別公演から28年…。今回の公演もその時の仲間が協力してくれました。2年後の30周年には、再び集まりたいと考えています。

【感想・アンケート】 道内各地の公演より、 その一部を紹介します。

・おはなし、近所のおばさんの話みたいで楽しく懐かしかったです。 <50代・女性>

・何かホツとしました。日本の文化ですね、感動しました。なぜか懐かし涙が出てきました。年取ったせいかな? <50代・男性>

・何か忘れていたような、ゆつたりとした気持ちになり、昔の音や匂いなどを感じた。不思議に今は亡き母父を思い出していました。始まる前に説明もあり内容のあるものでした。獅子舞で二度も咬まれました。ありがとうございました。 <70代・男性>

・アイヌの歌、トンコリの合奏、ムックリ、新鮮とても感動しました。交流を深める中で習得し広めている姿が素晴らしいと思いました。おはなし、涙を流しながら楽しみました。 <60代・女性>

・えびす舞がとくに面白かったです。第二部の津軽弁がとても印象的でした。 <20代・男性>

・えびす舞がとくに面白かったです。第二部の津軽弁がとても印象的でした。 <20代・男性>



白石うさこ保育園の年長さん

今日も、 元気！ です…。



小学校公演の様子から…



中学生も楽しそう…!!



伝言板

＊稽古場での小さな公演会

九月二十五日、「NPO現代座」代表の木村快さんと木下美智子さんが「音楽九条の会」の催しで来函した際に、「こぶし座」稽古場で公演会を開いて下さいました。

木下美智子さんが語る、「『遠い空の下の故郷』

〜ハンセン病療養所に生きて〜という作品です。

ハンセン病であるために強制的に隔離された女性の半生を描いた「遠い空の下の故郷」は、少女の頃に暮らした美しく懐かしい故郷の風景が、色鮮やかに映し出されるような語りとともに、小学生の時の発病、その後の家族の生活、療養所入所の葛藤と覚悟、母への想い…そして、療養所での過酷な日常と絶望へと、時に激しく…静かに淡々と進んでいきました。

歴史の真実と大切な友人の心を伝え続ける木下美智子さんのうたと語りは、「NPO現代座」の求める共生のきずなとなって、参加した仲間たちの心をつかりと結んでくれました。

…この公演会については、NPO現代座発行のレポート(No.68)に詳しく…

【1～3月の公演計画】

《特別公演》

- 1月
- 2(月) 棒二森屋
ポールスター
- 2月
- 18(土) 斜里子ども芸術フェスティバル

《保育園・幼稚園公演》

- 1月
- 11(水) 函館・つくしの子保育園
- 12(木) 函館・青い鳥保育園
- 13(金) 函館・つぐみ保育園
- 31(火) 鹿部・鹿部幼稚園
- 2月
- 6(月) 札幌・柏葉保育園
- 7(火) 札幌・北の星白石保育園
札幌・菊水上町保育園
- 8(水) 北広島・大曲はだかんばん保育園
- 9(木) 札幌・桑園保育所

- 10(水) 札幌・しせいかん保育園
- 13(月) 八雲・国の子保育園
- 21(火) 函館・神山保育園

《一般公演》

- 3月
- 5(日) 仁木町(ホール企画)
- 7(火) 大樹町(— —)
- 12(日) 稚内市(— —)

《講座講習》

- 1月
- 7(土) 多度志保育園(太鼓研修)
- 2月
- 8(水) 韓国青年訪日団
「ソーラン節」(体験)

※公演詳細につきましては、本部事務局… 0138-54-2859 へ

＊日韓青年交流事業お手伝いソウルフレンドシップフェアでお世話下さった、道庁・国際課の高田恵美さんからのお話しで、日韓政府が実施している本事業をお手伝いすることとなりました。

「今回は、訪問団70数名が北海道を訪問するため、北海道の魅力を伝えられるプログラムにしたい」と高田さん。二月八日に「ソーラン節の体験」とミニ公演を、札幌市内で行います。

『短信』

札幌市「北の星白石保育園」

「一般公演の舞台を道内各地へ」
記念公演演目を再構成した一般公演(ホール・ふれあい)の企画作品を、各地の皆さんに楽しんでもらいたい…と、制作担当の中尾が奮闘中！
3月には、仁木町・大樹町・稚内市で実施します。
5月以降も継続して計画したいと考えております。皆様のご協力をお願いします。



〔編集後記〕

新年号の作成中に、札幌の小学四年生の女の子から可愛いファンレターが届いた。遅くなってごめんなさい…で始まる文面には、学校の鑑賞教室での楽しかった様子と、詳しい自己紹介「こぶし座に入りたくなりました」との嬉しいコメントが…。子どもは、宝・未来・希望ですネ。がんばるぞ!!
今年もよろしく願っています。